

Title	チェーンストアの戦略的マネジメント・システム - D社の事例研究を中心として -
Sub Title	
Author	竹内祐二(Takeuchi, Yuuji) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1988
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1988年度経営学 第621号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001988-0621">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001988-0621</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	竹内 祐二	主査	伏見 多美雄
	(株式会社ダイエー)	副査	高木 晴夫
所属ゼミナール	伏見 多美雄 研		池尾 恭一

## チェーンストアの戦略的マネジメント・システム — D社の事例研究を中心として—

本論文はD社の構造改革運動に焦点を当て、チェーンストアのマネジメント・システムのあり方について基礎的な研究と具体的な提案をおこなったものである。構造改革運動は一般には経営戦略の再構築ととらえられ、マネジメント・システムの側面は見過ごされがちである。しかし、構造改革運動は本質的には戦略とオペレーションの仕組みの両方をにらんだマネジメント・システムの再構築なのである。本論文はこうした視点に立った上で、全体を3つのパートに分けて作成している。

まず最初のパートでは、D社の構造改革運動を客観的事実に基づいて分析をおこなっている。その際、マネジメント・システムの観点の他に収益構造の観点も加えた2面的なアプローチで経営活動の実態に迫ろうとしている。また、D社の特質をより鮮明に浮き上がらせるために必要に応じてY社との比較をおこなっている。

次のパートではD社の現状の問題点を整理し、それに対する解決方策を提案している。この中で、D社の現状のマネジメント・システムは目標斉合性を欠いているために統一的な戦略行動を阻害しがちであることを指摘している。この問題に対しては、収益構造の改善につながる体系的な対策及び戦略的な資源配分など全社的な計画管理の必要性を説いている。

そして、最後のパートでは、近未来の環境変化を考慮した上で、今後のD社の事業戦略に最も有効なマネジメント・システムのコンセプトを提案する。ここでは、中央集権制と分権制のバランスを取りながら、「販売部門」と「仕入れ部門」がそれぞれの職能に特化することで、企業競争力を高められるような具体的な提案をおこなっている。さらに、目標斉合性と評価の公平性を図るための工夫としていくつかのサブシステムも併せて提案をおこなっている。